

花巻小と桜台小の学区の見直し  
地域の理解を得ながら進める



大原 健 議員

問 花巻小学校と桜台小学校の児童数の格差が年々開き、学校経営にも支障を来している。学区の見直しについて見解を伺う。

答(教育長) 両校の学区の見直しは、地域の理解を得ながら進めていく段階に至っている。

問 菜の花プロジェクトの推進についての見解を伺う。

答(市長) 今年度と来年

度の2カ年で「環境基本計画」を策定する中で、菜の花やバイオマスを含めた新エネルギー施策について、環境関係団体や事業者をはじめ、広く市民の意見を伺いながら調査研究をしていきたい。



通学路の安全確保に活躍されているボランティアの方々(桜台)

市長の基本姿勢・政治姿勢

マニフェストの実現に努力する



古川 昭 議員

問 市長の基本姿勢及び政治姿勢について、前市長の考えを継承、発展させていく考えがあるのか伺う。

答(市長) 前市長の公正・公平な市政を原則に、必要なものは継続しながら、マニフェストに掲げた市政の実現に努力す

る。また、時の政府与党と連携を取っていくことが地方自治体の首長の政治姿勢であると考える。

出産一時金の給付

問 国保の出産一時金の給付について、従来、出産後に給付申請していたものを出産前に行い、退院時までに給付するようできないか伺う。

答(生活環境部長) 出産時に出産一時金相当額の現金を用意しなくてもよい仕組みを考えていく。

児童・生徒の安全確保対策

地域学校指導員を新たに委嘱



和田 幹 議員

問 秋田県などで起きた児童をめぐり痛ましい事件について、市内の子どもや保護者も不安を抱えていると思う。市内でも不審者が出現しているとの報告もある。

このことへの対策は、学校関係者、PTA地域ボランティアの活動では限界がある。市民の安全を担う立場から、防止策について伺う。

答(教育長) 警察官OB等の地域学校指導員を新たに委嘱し、各学校の安全ボランティア等に対する助言・指導を図りながら、地域の特性を十分考慮し、安全体制を整えていきたい。

また、安全指導については、交通安全指導はもとより、不審者対策として、具体的な場面を想定した指導の徹底を図る。

太田油脂の公害防止への対応

施設の補修等を指導していく



高橋 久 議員

問 フェザー工場の脱臭機が壊れるなど施設が老朽化していることや施設改修が計画より遅れていることにより、工場から悪臭が発生している状況であるが、今後の施設改善の状況と指導監督の方策について伺う。

また、問題解決は、工場移転であると考えますが、その推進について伺う。

答(市長) 太田油脂産業(株)の公害問題の最終的な解決方策は、工場の全面移転であると認識している。当面、環境マネジメントシステムの早期取得や悪臭発生要因の設備の改修や更新、施設の補修等を早急に実施するよう県南広域振興局花巻総合支局や保健所と連携しながら、会社を指導していきたい。

東和の小学校統合問題への見解

おおむね周知と理解が図られた



佐藤 富子 議員

問 東和地域の小学校整備備計画は、2校への再編を基本に1校案にも柔軟に対応した計画案を、平成17年5月に教育座談会で示し、その後、わずか5カ月で1校案の説明会が行われた経緯がある。1校案の住民への説明会は1回だけとなっている

が、住民合意が得られたと考えるか見解を伺う。

答(教育長) 統合によって生じる不安や課題への対応策も具体的に検討された上で、1校統合という重い選択がされたものである。

全学区の代表者等による5回にわたる町民懇話会、各学区や保育所単位での座談会、アンケート結果等の経緯から、おおむね周知と理解が図られたと受け止めている。



一般廃棄物最終処分場の浸出液処理施設(東和町平山地区)

H26年度まで継続使用できる  
H26年度まで継続使用できる



多田 久 議員

問 本市が所有する東和町平山地区の一般廃棄物最終処分場の今後の使用見直しと事業計画について伺う。また、埋め立て

終了後の管理についても併せて伺う。

答(市長) 岩手中部地区広域行政組合策定の一般廃棄物処理基本計画によると、平成26年度の新焼却施設稼働時まで継続使用できる見直しであり、それ以降は、埋め立て可能容量が相当ある施設を当該組合が継承し供用し

ていくこととしている。また、埋め立て終了後も場内から排出される浸出水を適正に処理するため、法に基づき、引き続き管理していくものとされている。